

## 令和5年度 第1回学校評価委員会報告

日 時 令和5年6月6日（木）午後6時

場 所 群馬県歯科医師会館 2階 常務会室

出席者 村山利之委員長、中野玲子委員、高松透浩委員、森島愛一郎委員、高瀬裕志委員、高橋智幸委員、斉藤崇委員、高橋邦夫委員

### 1 開 会

### 2 挨拶

村山委員長から令和5年度第1回学校評価委員会の開催について、挨拶が行われた。

### 3 報 告

高橋邦夫委員から令和4年度学校評価自己評価集計結果から、今年度の重点目標に掲げる「国家試験合格率」「県内就職率」「定員数の確保」といった評価結果について、資料に基づきを報告した。

令和4年度において重点目標全てに「3」以上を達成することが出来たが、コロナ禍により学生への臨床実習が十分に実施することが出来ず、技術力の向上は不十分であったことが報告された。

歯科衛生士国家試験では34名中32名が合格し、本学院の合格率は94.1%となり、全国平均の93.0%を上回ることが出来た旨報告した。

学生数については、50名中41名が入学し、定員割れの結果となった。次年度においても県内歯科診療所における「歯科衛生士不足」や「財政基盤の安定」のためにも学生数の確保に努めていくことが報告された。

### 4 協 議

以上の報告事項を踏まえ協議の結果、歯科衛生士不足や財政基盤の安定、学校の運営面や体制づくり等は、学生の質を高め前年度に続き、国家試験合格率100%を目指し、学生を確保することが重要な課題である。学生確保の手段として、オープンキャンパスの開催、学校訪問等が本学院への入学に結びついているので積極的に展開していくよう発言があった。

また、学生に対して最新鋭の医療機器等で学ぶことにより、実践力をアップさ

せ、最新のスキルを身につけられるよう学校内の環境を整備して頂きたい旨、発言があった。

　　昨年は中途退学者が出たことから学生に対して学修支援だけに限らず、学校生活への適応など幅広い相談に応じるよう努めて頂きたい旨、発言があった。